

リバーパーク犬飼 将来ビジョン

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

理由

- ①平成30年度以降、年間利用者数が年々増加傾向にある
- ②利用者の95%が「また施設を利用したい」と回答。一度きりの利用で終わらない需要がある
- ③10代～60代以上の幅広い年齢層に利用されており、様々な年代が利用できる施設となっている

目指すべき
施設像

- ①2面の天然芝グラウンドと九州内屈指のカヌーコースによって、利用者の競技力向上に資することのできる施設
- ②豊後大野市所管の施設(キャンプ場、バーベキュー場)と複合的な利用ができ、スポーツとレクリエーションを同時に楽しめる施設

目指すべき
利用者像

- ①トップチームを目指すクラブチームのサッカー競技者
- ②サッカーを行う学生・社会人
- ③県内外のカヌー競技者
- ④健康増進・親睦活動・自然体験を楽しむ人

定量的目標
達成指標

- ①年間利用者数の増
年間11,000人
(現状 10,300人)
- ②利用者満足度の増
令和4年度61%→令和13年度88%
(毎年3%のアップ 現状58%)
- ③豊後大野市所管の施設との複合的利用件数<新規目標>
令和13年度:10件/年

定性的目標
達成指標

- ①芝の質の向上のため、専門業者に意見を聞きながら適正な芝管理を行う
- ②九州内屈指のカヌーコースという強みを活かし、利用の推進を目指す
- ③豊後大野市の施設と相互の利活用が進むよう、予約状況等の共有など連携強化を図る

主な課題と解決策

【課題】

- ①人口減少・少子高齢化に関する課題
 - ・人口減少・少子高齢化により利用者数が減少する恐れがある
- ②施設管理に関する課題
 - ・芝についての利用者満足度の向上
 - ・施設全体の利用者満足度の更なる向上
- ③新たなニーズに関する課題
 - ・多目的グラウンドという呼称であるが現状では利用がサッカーのみに限られている
 - ・サッカーの利用についても利用者が一部のクラブチームや学校の利用が主である

【解決策】

- ①・芝のコンディションの維持・管理に力を入れ、また、グラウンドが2面あり複数チーム予約が可能であることなどの強みを周知する
 - ・1会場で2試合の開催が可能であるという強みを広報し、県内外から大会利用者呼び込む
 - ・県の施設と豊後大野市所管のキャンプ場やバーベキュー場を併せて利用してもらうなど複合的な利用をPRする
- ②・専門業者の意見を参考に芝の質の維持・管理が可能な利用上限を決定する
 - ・利用者アンケートを年度内複数回実施し、ソフト面・ハード面で柔軟に対応し、利用者の利便性の向上を図る
- ③・サッカー施設としての芝の状態を保ちながら、多目的グラウンドとしての他の用途を模索する
 - ・グラウンドが2面あり複数チームの予約が可能である点、グラウンドが天然芝であるという点をPRし利用者層の拡大を図る